

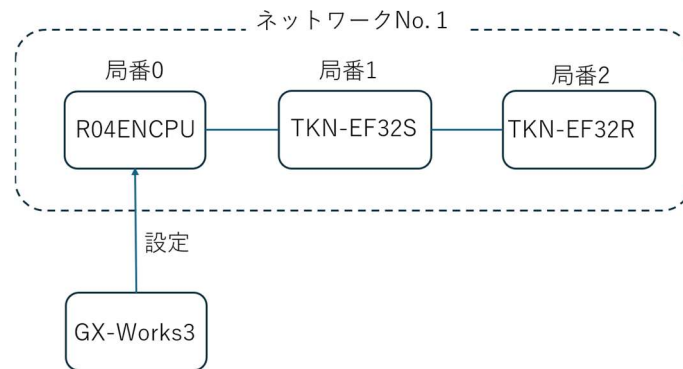
TKN-EF32 シリーズ 導入ガイド

1 はじめに

本ガイドは、TKN-EF32S/TKN-EF32S-PLC および TKN-EF32R/TKN-EF32R-PLC と MELSEC iQ-R CPU ユニット(以下、R04ENCPU)を通信接続するための、GX-Works3 の設定例を記述したものです。

GX-Works3 上で R04ENCPU の CC-LINK IE Field 通信設定が完了した状態を前提としていますので、あらかじめ、マニュアルを参照して設定を完了させてください。

想定しているネットワーク構成は下図のとおりです。



本ガイドでは、TKN-EF32S および TKN-EF32R のリンクデバイスを下表のように割り付けます。

TKN-EF32S リンクデバイス割り付け

TKN-EF32S のリンクデバイス	CC-LINK IEF リンクデバイス	CPU 側リフレッシュデバイス
RX00～RX1F	RX00～RX1F	D0～D1
RY00～RY1F(※1)	RY00～RY1F	D4～D5
RWr0～RWr3	RWr0～RWr3	W0～W3
RWw0～RWw3(※3)	RWw0～RWw3(※3)	W4～W7

TKN-EF32R のリンクデバイス割り付け

TKN-EF32R のリンクデバイス	CC-LINK IEF リンクデバイス	CPU 側リフレッシュデバイス
RX00～RX1F(※2)	RX20～RX3F	D2～D3
RY00～RY1F	RY20～RY3F	D6～D7
RWr0～RWr3	RWr4～RWr7	W0～W3
RWw0～RWw3(※3)	RWw4～RWw7	WC～WF

※1 TKN-EF32S(入力ユニット)では、RY は予約領域としては確保しているのみで未使用

※2 TKN-EF32R(出力ユニット)では、RX は予約領域としては確保しているのみで未使用

※3 TKN-EF32S および TKN-EF32R とともに、RWw は予約領域としては確保しているのみで未使用

注意

- ・本ガイドは設定の一例です。お客様の使用状況に合わせて各設定値を変更し、運用していただきますようお願いします。
- ・以下は本ガイドの対象としていません。それぞれのマニュアルをご参照ください。
 - ・TKN-EF32S および TKN-EF32S の操作方法
 - ・GX-Works3 および R04ENCPU の操作方法
 - ・GX-Works3 における R04ENCPU の CC-LINK IE Field の設定方法

参考資料

資料中で不明な点は、下記資料を適宜ご参照ください

- ・GX Works3 オペレーティングマニュアル(SW1DND-GXW3-J)
- ・TKN-EF32S および TKN-EF32R 取扱説明書

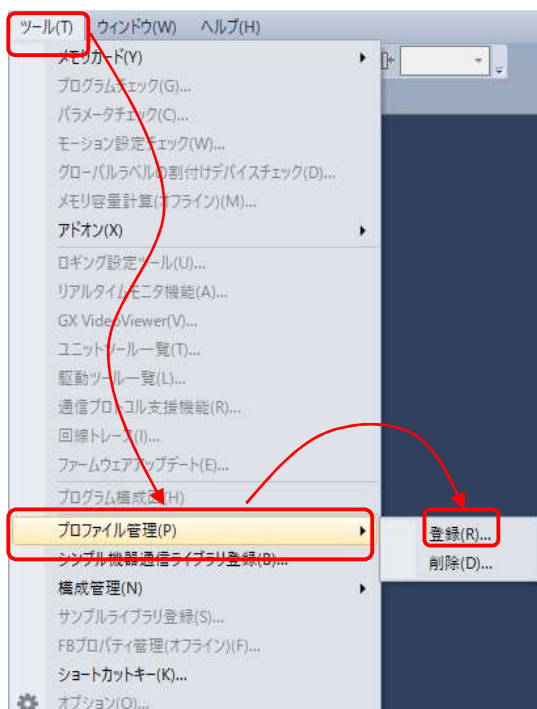
2 設定の流れ

本ガイドでは、下記の流れで、GX-Works3 の設定を行います。

1. CSP+ファイルの登録
2. スレーブ局登録
3. リフレッシュデバイスの割り付け

3 CSP+ファイルの登録

- ① GX-Works3 を起動する(※プロジェクトファイルから起動しないでください)
- ② メニューバーの「ツール(T)」からプロファイル登録のダイアログボックスを開いてください。

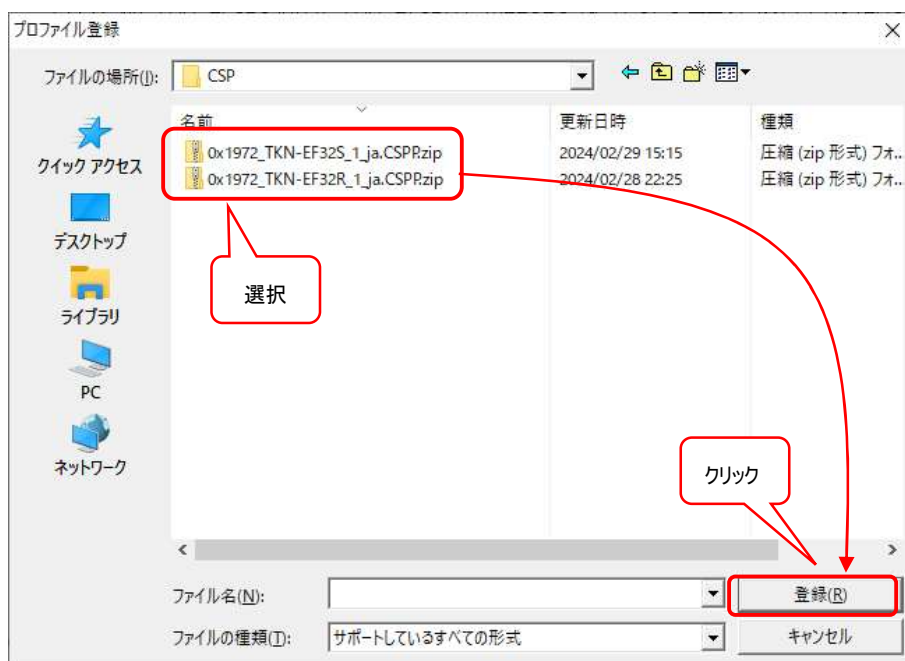


- ③ TKN-EF32S および TKN-EF32R の CSP+ファイル保存場所から各 CSP+ファイルを登録してください。

※画面は TKN-EF32 の例となります。

TKN-EF32S-PLC および TKN-EF32R-PLC をご使用の場合は対応した CSP+ファイルをご使用ください

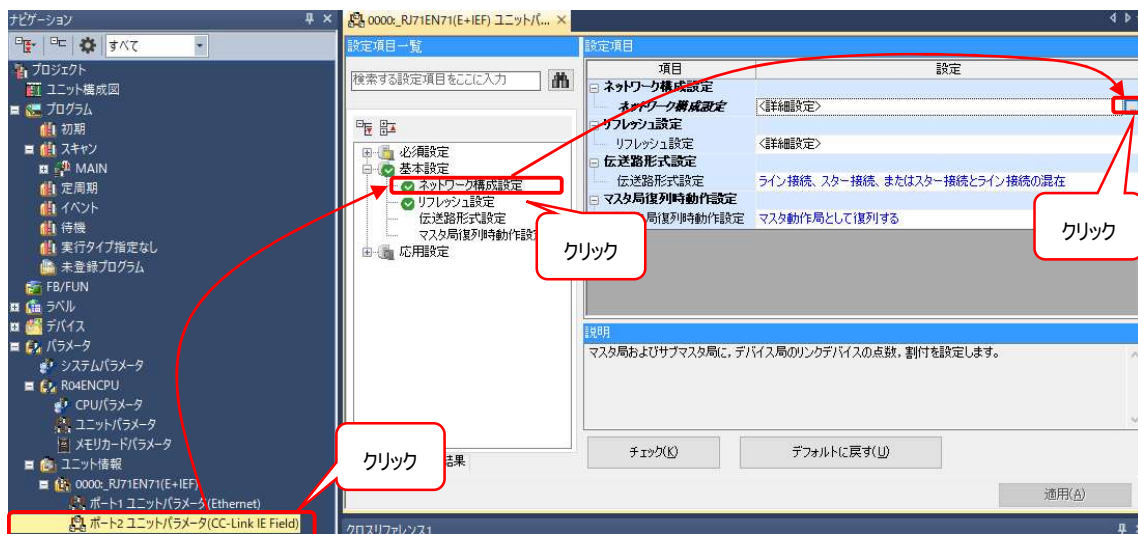
プロファイル登録画面例



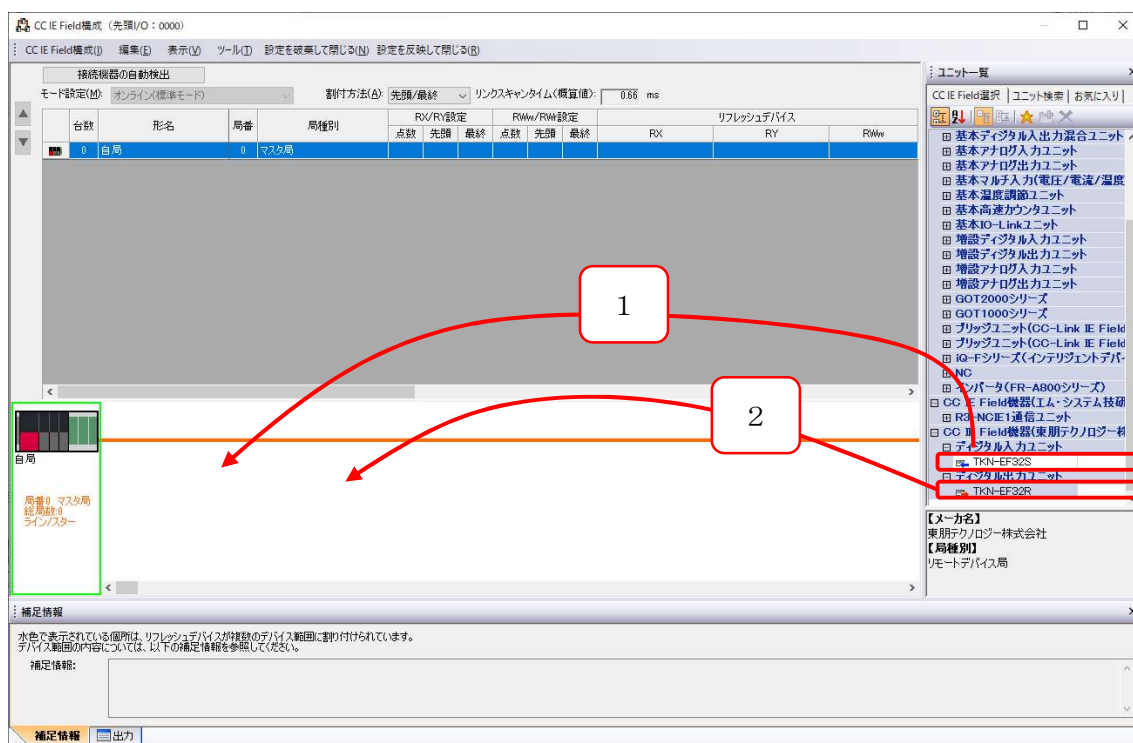
4 スレーブ局の登録

※スレーブ局の登録を行う前に、R04ENCPU の CC-Link IEF 設定をしておいてください。

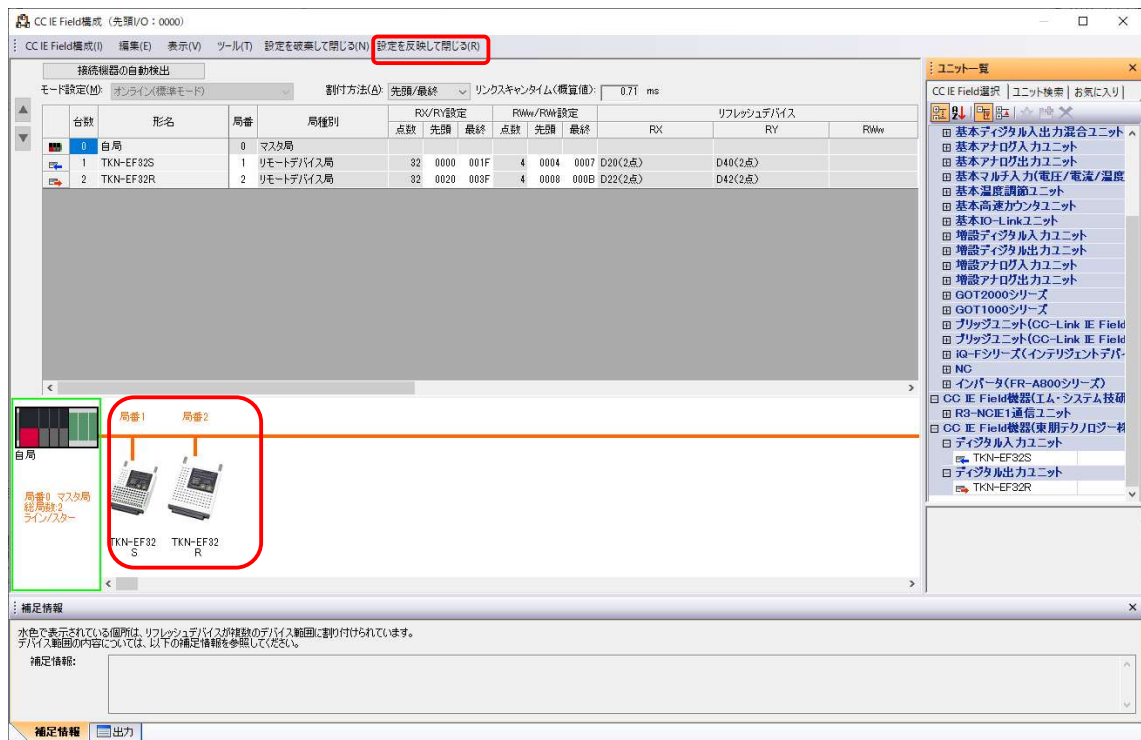
①下図の流れでネットワーク構成設定画面を開いてください。



②ユニット一覧から TKN-EN32S と TKN-EN32R を、順にドラッグ＆ドロップしてください。

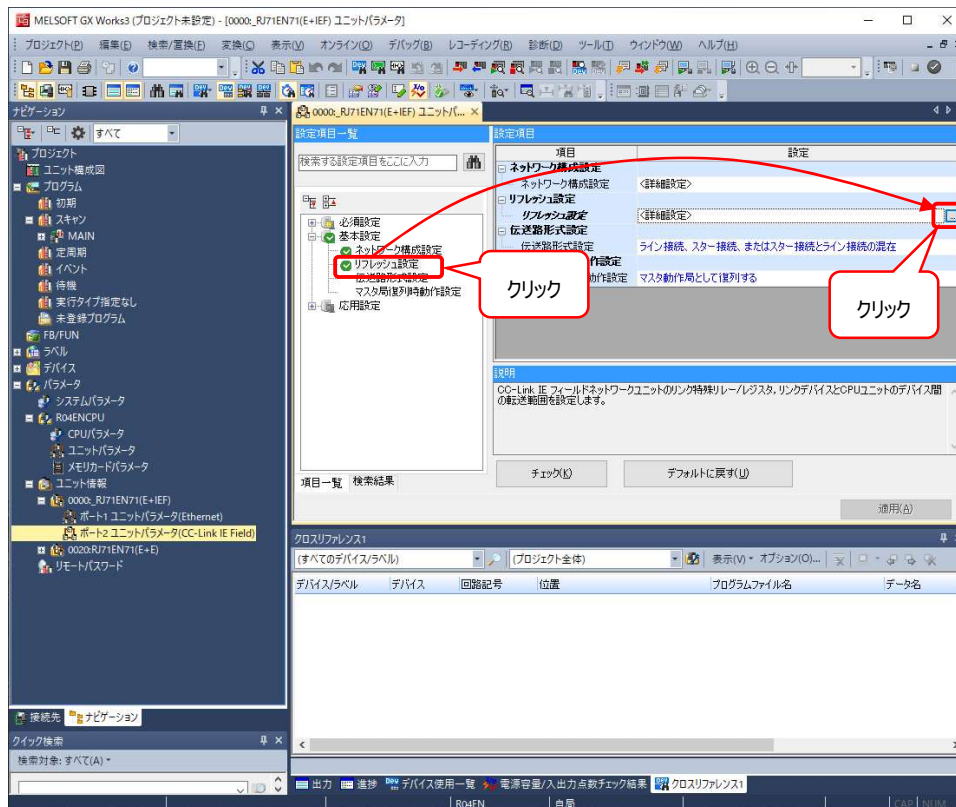


③TKN-EF32S および TKN-EF32R がマスタ局にぶら下がっているのを確認したら、「設定を反映して閉じる(R)」をクリックして設定完了です。

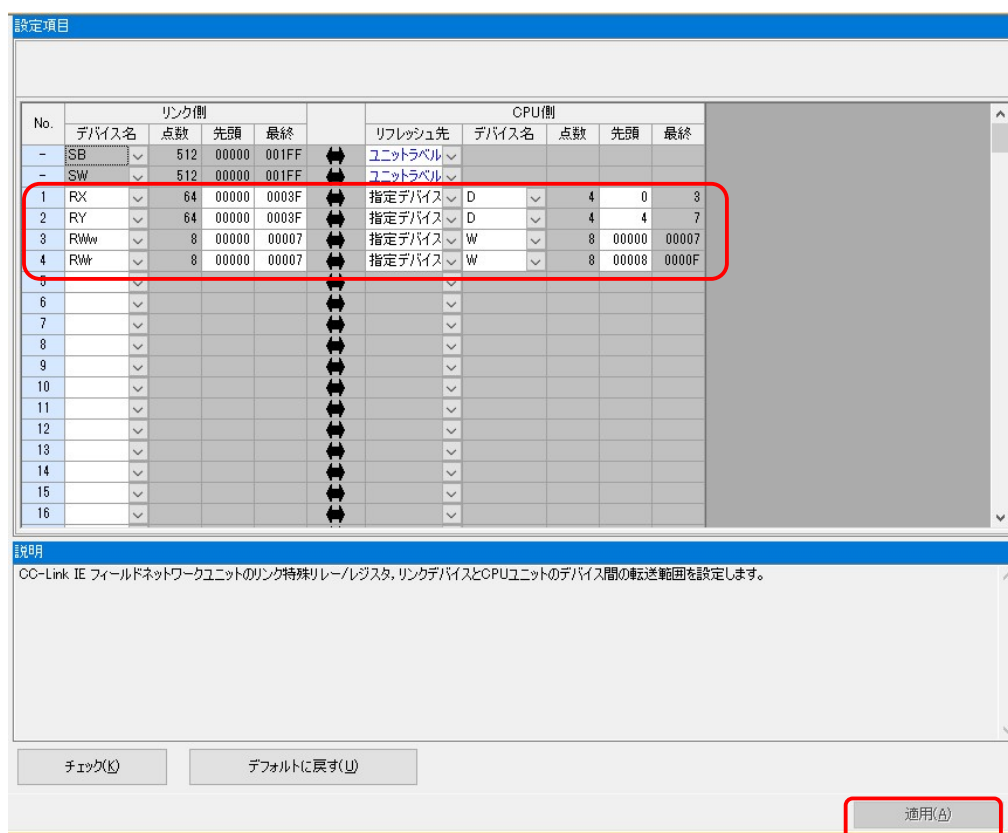


5 リフレッシュデバイスの割り付け

①下図の流れで「リフレッシュ設定」画面を開いてください。



②設定項目画面を下図のように設定してください。



③「適用(A)」をクリックして設定完了です。

6 スレーブ局パラメータ処理

TKN-EF32S の「入力応答時間」設定および TKN-EF32R の「Hold/Clear」設定は、「スレーブ局のパラメータ処理」画面でも設定できます。スレーブ局のパラメータ処理で設定された内容は、ユニットが再起動(電源 ON、もしくはリモートリセット)された時に反映されます。このとき、機能設定 SW の内容は無視されます。

機能設定 SW の内容を有効にする場合は、一度「スレーブ局のコマンド処理」でパラメータクリアを実行してください。

7 スレーブ局コマンド実行

- ・エラー履歴データ読み出し: 実行すると、ユニット内のエラー履歴を読み出します。
- ・エラー履歴クリア: 実行すると、ユニット内のエラー履歴を読み出すことを消去します。
- ・パラメータクリア: 実行すると、入力応答時間設定は機能設定 SW の内容に従います。(再起動後反映)

2024 年 7 月 初版
2026 年 7 月 第二版

おことわり

記載内容の一部を予告なく変更する場合がありますので
予めご了承ください。



東朋テクノロジー株式会社

エレクトロニクス事業部

〒607-8232 京都市山科区勸修寺福岡町 270

T E L 075-581-7175

F A X 075-593-9447